

# 一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるもので、**6月定例会では17名の議員が一般質問を行いました。**ここでは広報委員会、事項別に整理した一部の内容を掲載しています。

一般質問の全文は、8月中旬作成予定の本会議録を図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

## 子育て・保育

本市における子育て・保育について、次のような質問が行われました。

**質問：鎌倉の子どもたちがどういうふうな育つてほしいのか、市長は、どのような理想を持っているか。**  
**市長：**何よりも、自分のことより他人を思いやる心を持ち、かつ鎌倉の長い歴史の様々な先人の方々の思いや努力、そういうことを誇りに思いながら、次世代を切り開いていける大人になってほしいと思っています。

**質問：市長は、子どもを育てていくには、今、鎌倉で何が足りないのか、また、今の世の中で何が足りない**

**と**思っているか。  
**市長：**足りないというより、必要と思うのは、鎌倉市のこと、地域のこと、人のこと、歴史・文化など多面的により深く知っていることが重要であり、人と人とのつながりがあり、いつでも居場所があると思えることが、大事なことと

**質問：現制度において、認可保育所と認可外保育施設の0歳児から就学前までの保育料と、施設に対する補助額の違いはどのくらいか。**  
**市長：**認可外保育施設を利用する保護者の前年度所得税額が8万2千円から10

**質問：待機児童対策について、全国的に横浜方式に倣っていき動きになっているが、本市は、何を学んで取り入れていくのか聞きたい。**  
**同部長：**今年度実施するニーズ調査で保育の必要量を把握するとともに横浜方式を参考として分析していく。また、一人一人の状況により保育所の一時預かりや認可外保育施設の

**質問：拠点園構想の下で現状の公立保育園の障害児保育は十分であると思うか。**  
**同部長：**保護者の希望で、民間の保育園を選ぶこともあるが、原則的には申請があれば受けている。

**質問：岡本保育園の建て替えとフラワーセンター苗圃跡地の状況はどうなっているか。**  
**同部長：**岡本保育園については、耐震診断の結果、建て替えを予定している。また、フラワーセンター苗圃跡地については、神奈川県と定期借地権契約を締結し、民間の誘致で平成27年4月の開園を目指している。

**質問：鎌倉地域の保育施設空き状況を紹介しますが、入所相談業務の充実を図っていききたい。**  
**質問：では、現在の待機児童対策としては何をやっていくか。**  
**同部長：**施設の改修等により、25年4月に130名の定員増を図った。また、認可外保育施設の認可化により、15名程度の増を見込んでいる。

岡田和則	……	「市長の政治姿勢」
前川綾子	……	「鎌倉の未来を見据えて」
西岡幸子	……	「女性の視点での防災対策」「新保育制度について」
池田実	……	「まちづくりについて」
三宅真里	……	「安心・安全なまちづくり」
長嶋竜弘	……	「行政運営の新たな考え方と手法についてVol. 2」
吉岡和江	……	「ごみ問題について」
上畷寛弘	……	「職員の人事・労務管理について」「公教育の在り方と青少年の健全な育成について」「事務に於けるコストコントロールについて」
納所輝次	……	「安全・安心まちづくりの推進について」
保坂令子	……	「情報公開の推進について」「防災対策について」
高橋浩司	……	「世界遺産について」
千一	……	「高齢者定期巡回型介護について」「重度訪問介護について」「子供達の通学路について」「ペットとの共生について」「どのような立場におかれている市民にも参政権を」
日向慎吾	……	「地震・津波対策について」「住民基本台帳カードについて」
渡邊昌一郎	……	「平成25年4月の市議会議員選挙について」「防災の取組について」
中澤克之	……	「いじめ等について」「子ども達の環境等について」「市長の政治姿勢等について」
永田磨梨奈	……	「風致地区における個人住宅の建設について」
小野田康成	……	「災害発生時における諸対応について」「不動産の適正管理について」「災害発生時の障害者に対する諸対応について」

## 防災対策

本市における防災対策について、次のような質問が行われました。

**質問：防災行政用無線が届きにくい難聴地域の対策を教えてください。**  
**防災安全部長：**スピーカーの向きや音量調整で改善される例もあるが、補完対策である消防テレホンサービス、防災安全メール、ホームページへの掲載、鎌倉FM緊急放送放送、鎌倉ケーブルテレビロップ放送、戸別受信機(※)やNTTドコモのエリアメールなどの利用を合わせて案内している。

**質問：戸別受信機活用の可能性を広げる工夫はあるか。**  
**同部長：**戸別受信機の有償配布は、予定台数1600台のうち、5月末現在で1525台が配布済みで、受信可能な地域で活用されている。今年度は戸別受信機難聴対策として、公共施設への外部アンテナの設置を予定している。

**質問：今年3月に配布された津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所**

**は、立地条件や建物の高さ**

**を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。**  
**同部長：**現在、旧鈴木邸・今井邸跡地の活用を考えている。同地は海拔10mであるため、待機児童対策はもちろんだ地域の津波避難ビルも視野に入れ民間活力の導入も含め検討している。

**があるのか。**  
**同部長：**現在までに材木座地区と長谷・坂ノ下地区の一部に設置している。今後は由比ガ浜地区、腰越地区の沿岸部に順次設置していく。

**質問：津波避難経路の面シート(※)が一部地区に設置されているが、沿岸地域に設置拡大する計画はあるか。**  
**同部長：**現在までに材木座地区と長谷・坂ノ下地区の一部に設置している。今後は由比ガ浜地区、腰越地区の沿岸部に順次設置していく。

**質問：津波避難経路の面シート(※)が一部地区に設置されているが、沿岸地域に設置拡大する計画はあるか。**  
**同部長：**現在までに材木座地区と長谷・坂ノ下地区の一部に設置している。今後は由比ガ浜地区、腰越地区の沿岸部に順次設置していく。

**質問：津波避難経路の面シート(※)が一部地区に設置されているが、沿岸地域に設置拡大する計画はあるか。**  
**同部長：**現在までに材木座地区と長谷・坂ノ下地区の一部に設置している。今後は由比ガ浜地区、腰越地区の沿岸部に順次設置していく。

**質問：津波避難経路の面シート(※)が一部地区に設置されているが、沿岸地域に設置拡大する計画はあるか。**  
**同部長：**現在までに材木座地区と長谷・坂ノ下地区の一部に設置している。今後は由比ガ浜地区、腰越地区の沿岸部に順次設置していく。

**質問：津波避難経路の面シート(※)が一部地区に設置されているが、沿岸地域に設置拡大する計画はあるか。**  
**同部長：**現在までに材木座地区と長谷・坂ノ下地区の一部に設置している。今後は由比ガ浜地区、腰越地区の沿岸部に順次設置していく。

**質問：津波避難経路の面シート(※)が一部地区に設置されているが、沿岸地域に設置拡大する計画はあるか。**  
**同部長：**現在までに材木座地区と長谷・坂ノ下地区の一部に設置している。今後は由比ガ浜地区、腰越地区の沿岸部に順次設置していく。

**質問：津波避難経路の面シート(※)が一部地区に設置されているが、沿岸地域に設置拡大する計画はあるか。**  
**同部長：**現在までに材木座地区と長谷・坂ノ下地区の一部に設置している。今後は由比ガ浜地区、腰越地区の沿岸部に順次設置していく。

**井戸として最低限の水質が得られるかどうかを調べる簡易検査に適合し、所有者の了解が得られている井戸は34カ所あり、そのうち停電時でも使用可能な井戸は16カ所ある。**

**質問：昨年6月、地方防災会議に女性委員の参画を促す災害対策基本法の改正がされた。本市の防災会議の女性委員数はどうか。**  
**同部長：**現在2名である。防災対策は女性の視点を踏まえて進めることが重要であり、引き続き女性の登用について努力していきたい。

**質問：災害から受けるダメージには性差がある。避難生活では女性の負担の増大や、女性への暴力、また男性の仮設住宅における引きこもりや孤立等の問題が報告されている。一人一人の尊厳・安全を守ることが重要だと考えるがどうか。**  
**市長：**避難所でプライバシーを守ることは重要と考える。

**質問：昨年度、議会が修正した避難所用の問仕切りについての予算に対して、それを否定するような市長の発言があったと聞いている。考えを聞きたい。**  
**市長：**予算の内容についてはしっかりと精査しなければならぬという問題意識を持つ意味から発言したということはあるが、問仕切りを否定しているものではない。また段ボールやプラスチック等で様々な工夫ができると考えている。

**質問：この問仕切りは、25カ所の避難所に1組ずつ配備されても、一つが10区画にしかならず、十分ではない。工夫をするというのは**

**第二の段階で取り組むべきと考える。再度、しっかりとした考えを聞きたい。**  
**市長：**プライバシーが守られるよう、より多くの問仕切りの必要性を含め、しっかりと女性の視点も入れながら取り組んでいきたい。

**質問：この問仕切りは、25カ所の避難所に1組ずつ配備されても、一つが10区画にしかならず、十分ではない。工夫をするというのは**

**第二の段階で取り組むべきと考える。再度、しっかりとした考えを聞きたい。**  
**市長：**プライバシーが守られるよう、より多くの問仕切りの必要性を含め、しっかりと女性の視点も入れながら取り組んでいきたい。

### 用語の解説

※印の用語について解説します。  
**戸別受信機(防災ラジオ)**  
各家庭で防災行政用無線を聴取できる受信機です。通常はラジオとして使用できますが、防災行政用無線が放送された場合、強制的に切り替わります。



### 津波避難経路路面シート

避難行動の目安となる沿岸部の道路に設置された避難方向を示したシートです。



### 都市マスタープラン

都市計画法に規定されている都市計画に関する基本的な方針のこと、長期的視点にたった都市の将来像を明確にし、その実現に向け、大きな道筋を明らかにしています。本市では、平成10年から30年間を計画期間として定めています。